

平成30年2月

平成29年度 自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園
山形美容専門学校

平成29年度 自己評価について

学校法人薬師の杜学園山形美容専門学校は、前身の山形厚生専門学校に美容科を開設したのを始まりに62年間、業界発展と人材育成を趣旨とし人材育成に努めて参りました。卒業生は約7,960名となり県外・県内はもちろん、海外でも活躍しています。

本校ではより良い学校運営を実施することを目指して、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に自己評価に取り組んでおります。

評価にあたっては、今後も教育の質向上にこの評価結果を活かし、時代に対応できる人材作りと業界に貢献できる学生の育成に努めて参ります。

1 対象期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 実施方法

(1) 校内に「自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っております。

委員会構成：委員長 学園理事長

委員 校長、教頭、教務主任、事務局長、事務主任

(2) 評価は、「専修学校における自己評価ガイドライン」を参考に行っています。

(3) 評価は、年一回2月に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

3 自己評価の項目：自己評価は、以下の10項目について実施します。

(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の受け入れ募集

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

4 評価項目に対する評価

評価は、4～1の4段階で表します

段階	4	3	2	1
評価	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切

評価項目1 教育理念・目標

教育理念

心の化粧 真の美しさを求めて

- 1 多くの知識と技術を学ぶことに合わせ、内面の美しさを求めて自分自身に「思いやりの心」を常に持つことを理念とし「心豊かな美容師」を育成
- 2 人間力を身につけて、「業界で求められる人材」の育成
- 3 美容全般をトータルで学び「幅の広い技術力」を身につけて適応力のある学生を育成

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4
b	学校における職業教育の特色を明示しているか。	4
c	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学則に於いて、明確に定めている。 目的、育成人材像も教育理念に明示されている。
b	教育理念に明示されている。
c	社会の変化に対応しながらニーズ対応の取り組みに努力し、適切な情報を瞬時に取り入れている。しかし、カリキュラムの内容等見直しの必要もあると考える。

評価項目2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	4
c	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか。	4
d	人事、給与に関する制度は整備されているか。	4
e	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4
f	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	運営方針は明確でありそれを基に事業計画を策定している。
b	新年度事業計画を立て、目標、方針を理事会、評議員会にかけ承認を得て取り組んでいる。
c	運営組織は理事会、評議員会で決定され、運営組織や意思決定機能は十分効率的であるが、点検・改善は必要である。
d	就業規則を始め各種諸規定を明確に定め整備されている。
e	教育に必要な事業費、人件費、その他の経費については校長、事務局長、事務局の積算方法により作成され理事会により審議し進められている。
f	現状のシステムに若干の不足はあるが、業務の効率化は以前より改善されている。しかし、情報技術の進展に追いつけない課題はある。

評価項目3 教育活動

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
b	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
c	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか。	3
d	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置付けられているか。	3
e	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
f	職業に関する外部関係者からの評価を取入れているか。	3
g	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4
h	資格試験の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	4
i	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めており全教職員の意識統一がなされている。
b	法定時数に則った教科科目と時間の編成である。必修科目、選択科目については必要性の根拠をはかり適切に編成している。
c	関連業界内での意見、卒業生に対しても評価を聞き入れ、カリキュラムに取り組む努力の予知がある。
d	現役の美容師を通しカリキュラムや教育内容の見直し等の情報交換を適宜行っているが、実践的な授業が少ないという課題もある。
e	授業のマンネリ化を修正するためにも実施・評価体制は必要と考えられる。講師と職員による意見交換をし改善見直しを継続的に行う。
f	定期的開催される会議（評議員会）で関係者の意見を聞く等し積極的に取り入れている。 今後は就職先の雇用主の意見も取り入れていく努力をしていく。
g	明確になっている。認定基準形式に従って作成、統一性の確保に取り組んでいる。
h	資格試験に対する計画的なカリキュラムの組み方をしている。通常授業以外にも講習会を設け資格取得に向けて技術力向上に努め、教育水準の向上を目指している。
i	資格試験のある外部研修への参加に取り組み、勤勉意欲の高い教員の確保に努めている。

評価項目4 学修成果

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	就職率の向上が図られているか。	4
b	資格取得率の向上が図られているか。	3
c	退学率の低減が図られているか。	4
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	例年100%の就職率である。校内においてサロン説明会を開催する等、担任がサロンと連絡を取り合い情報を交換している。
b	国家試験では、学科、実技ともに弱点に早く取り掛かり高い合格実績を上げている。他検定試験については、学力に差があるため個々に指導する必要がある。
c	退学者を出さないように保護者、担任、校長が連携し学生指導に努力している。
d	卒業生については、学生の来校時に情報を収集している。サロンのオーナーからの連絡、ガイダンス時に情報を収集している。

評価項目5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか。	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	3
d	学生の健康管理を担う体制はあるか。	4
e	学生の生活環境への支援は行われているか。	4
f	保護者と適切に連携しているか。	4
g	卒業生への支援体制はあるか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	就職説明会等を開催している。担任が責任持って担当し直接的に見学、面接日程を決めている。
b	担任、事務職員、校長が親身に対応する等学生相談に応じている。
c	学費の分納制度を導入。遠隔地の学生に対し、就学支援制度の実施。 日本学生支援機構奨学金や日本政策金融公庫等の教育ローンも紹介している。
d	学校医を選任し、健康診断を実施。保健室も整備している。
e	学業に専念出来る環境、クラスの雰囲気作り、衛生面に対し整備を心掛けている。
f	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っている。 学期ごとに保護者宛に成績、担任所見等を通知している年に1回保護者会総会を開催し授業参観を行っている。必要に応じて保護者に各学年の担任が現状報告又は面談を行いながら連携を図っている。
g	相談内容によって親身に対応している。再就職等については情報提供や具体的な紹介を行っている。 今後の課題としては卒業生の情報収集に努める。

評価項目6 教育環境

(1) 評価

評価項目	評価(4~1)	
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか。	3
b	学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか。	3
c	防災に対する体制は整備しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	教育上の必要性に対応できるよう整備している。談話室、ゆとりのスペースが足りていない。
b	校内に模擬実習室を設け授業で活用しているが、今後外部の人の受け入れや現場実習等も検討していく。
c	警備システムを導入し防災対策を講じている。学校内における安全管理においては各担当者を定めており、指揮連絡系統は明確にしている。 警備箇所不足があるという課題もある。

評価項目7 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学生募集活動は適正に行われているか。	4
b	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4
c	学生納付金は妥当なものになっているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学生募集活動は適正に行われている。学生募集活動は業者開催のガイダンスを調査した上で選別し、広報・募集活動の内容と明表現については今後も真実性・明瞭性には特に留意していく。情報はHPにて随時更新し、最新の情報提供に努めている。
b	正確且つ具体的な情報提供に心掛け、公表している。
c	学生納付金は経費内容に対応して算定している。学生納付金については評価も高い。

評価項目8 財務

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4
c	会計監査が適正に行われているか。	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	安定している。余剰金については、学生が減少した時も繰り入れ出来るように、毎年基本金に繰り入れしている。
b	妥当である。予算作成のため、科目ごとに積算書や全体の収支計画書を作成し、半年ごとに補正予算を組む等現状に対応している。
c	毎年監事より監査を受けている。 公認会計士に委託して指導を受けている。
d	今後はネット上での公開を検討している。

評価項目9 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
b	個人情報に関しその保護のための対策が執られているか。	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	3
d	自己評価結果を公表しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	法令・基準の遵守は当然の義務と認識しており、徹底して示し適正な運営に努めている。
b	個人情報については、保護の為の対策を講じている。個人情報の使用に関する承諾について「署名・捺印をもらい、利用、管理については万全を期して機密保持に関する誓約書を取り交わし対策を講じている。
c	問題点の改善には努めているが、中長期的に時間を要するものもある。
d	今後はホームページでの公開も検討する。

評価項目10 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
b	学生ボランティア活動を奨励・支援しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	施設ボランティア等を通し、メイクやネイル等の技術力を活かし積極的に活動している。学校の施設、設備等外部からの貸し出し依頼があれば可能な限り応じている。
b	社会との交流は大切と考え、地域貢献、ボランティア活動に対し奨励し積極的に支援している。